12月4日（水） smmsmm議事録

論の流れ

1⃣　消費者教育とは…？

→「主体的な意思決定」を目指している。

cf. 学習指導要領・消費者教育の推進に関する法律etc

2⃣　現状

→「主体的な意思決定」はできてないらしい…

ex. 色川卓男（2003）「日本における消費者教育の歴史的評価と今日的課題」

・「消費者の権利や義務についての知識は疎く、行動にはなかなかつながらない」

・「消費者自身が消費者教育の重要性を一貫して認識していない」

→RQ「主体的な意思決定」ができていないとするならば、どこに課題があるのだろう？

3⃣　先行研究

高校において、「主体的な意思決定」ができていないことについて何が言われているか

（主体的～は高校のみ！小中では学習指導要領では言われていない）

【消費者教育指導上の阻害要因】

①増田・田部井（1996）

指導や研修のための時間不足。

しかし多くの教師が、消費者教育は意思決定能力を育成する教育だと認識している。

⇒時間と教育内容は関係ないのでは。

②角間（2003）

「基礎知識の習得」と「意思決定プロセス」は、並列または段階的な学習が必要であり、いずれか一方のみが取り上げられるということはあってはならない。

BUT　いちばんの問題は別の所にあるのでは?！←なぜそう思うのか？理由が必要？

仮説※文言

　消費者教育で目指されている「意思決定」と

　　　　　　　　　現場で想定されている「意思決定」の内実がずれている

検証

1. そもそも目指しているはずの意思決定とは何かを示す

⇒政策として海外のものを導入してきたことから、海外で目指されている意思決定(欧米型)を目指している。

●山口（2000）「個人の意思決定スキルに関する研究」

⇒本当に日本は欧米型を目指してる？

1. 欧米型って日本の現場で本当に想定されているんだろうか？

日本型なんじゃないの？？？(意思決定論からひっぱってくる)

●森田・小山・小川（）「」

⇒意思決定のプロセスが日常生活上のマニュアルのようにわかりやすく書かれている。

ex. 商品購入時の意思決定

①→②→③→…のように記述している？？？？？

意思決定の具体的な過程が書かれている。

1. 検証本番：教科書分析

→日本は日本型

　アメリカは欧米型　になってるね！！

でもアメリカの現在の教科書が見つからない！

アメリカ（1998）と日本（1998頃）を比較

→日本の1998頃と現在も内容変わっていないことを示す…？

　　欧米　　　　　　　　　　　　日本

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　この図もあやしくなってきた…？

　多様な価値　　　　　　　　　　答え

→示唆

★議論に上がった点★

・そもそも欧米型と日本型の区別、境界線がわからない。どういう点で違うのか？

・実際に教科書見てみたいよね

・理念と実践の乖離…理念として、検証では良し悪しについては関係ないが、目指すものとして欧米型が良いって言えるのか？

★宿題★

先行研究のたたき方やより良い先行研究を探す。